

新型コロナウイルスの感染防止対策として、政府は文芸イベント

「正義」を盲信 肉感なき生体の死 波打ち際の人間

津久井やまゆり園事件から着想し長編小説『目』(※1)を書いた作家の辺見庸さん(75)は、事件と死刑は「正義」の盲信という次元で関連する点が多い。肉感としての「リアルな生体の死」を、植松聖被告(30)は想起できたのだろうか。そして、わたしたちは?

(聞き手・川島 秀宣)

「被告は横浜拘置支所で『目』を読んだそうです。感想万人が彼と関係があるという手紙で寄せてきました(※2)。彼の行為によつてほと

「この事件について、まず、問は一人もいないんじゃないかな。川島君はどう思うの?」

「一刀両断できないと思いた目常のなかで、さぞん(被告人)は細かく断罪断罪された。事件の根底に更生思想があるが、歴史的に絶対悪の評価が定まったトナリの延長と断罪してしまえば、それまで

「ごめんに対する嫌悪は、自分に対する嫌悪に似ている。みまじか、迷ってしまったからやめる。だから、直視したくないんだよ。小説を書きながら考え

た。このメインテーマは読者に受け入れられないだろうなど。気づきました。わたしたちの身

近な生活にも、被告と地獄の向き合ななきゃいけないのか、

「被告は重度障害者の殺害罪類が少なからざるのではな

いか、そう考えています。

やまゆり園 事件考

死刑と命②

「彼はもう人善ではないけれど、悪である」と断罪し、そこで「彼はもう人善ではないけれど、悪である」と断罪し、そこで「彼はもう人善ではないけれど、悪である」と断罪し、そこで



へんみ・よう 1944年生まれ。元共同通信記者。78年中国報道で日本新聞協会賞、91年『自動起床装置』で芥川賞、2011年詩文集『生言』で中原中也賞。

作家 辺見 庸さん

「法廷では、責任能力を争うのではなく、責任能力を争うのではなく、責任能力を争うのではなく、責任能力を争う

※1 目が見えず、しゃべれず、歩けない園入所者「ギーちゃん」を語り手とし「なぜ、在るのか」と自問する重度障害者の内面をひらき「ごとき」を描いた。元職員「なにか」と考え、「世の中をよくしなければいけない」と、ギーちゃんたちの殺害を執行する。

ね。刑事司法の限界。事実、彼全にやめたよ」

「ごめんを死刑にすること、この社会は彼を肯定する」

「死刑はリアルな殺人だよ。おれは確定死刑囚と数十回、面

「死刑を『正義』としてなん

スピーチ、性差別の実態に多様な視点から追っているほか、改憲や道徳教科書を巡るルポなどを収録。1800円(税別)で全国の書店で発売中。

連載「時代の正体」vol.13 忘却に抗(あらが)い、語り代思願新社から刊行されました。相模原障害者殺傷事件やヘイト

書籍化のせ お知らせ

だから

びびる

靴

立ち上がる
とびざが痛い。洗濯物を干す時
くて肩が上がる。洗い物を
きりなかの痛みは、最初のうに
し休めば治まりますが、すぐに
返り悪化の一途を…。こうし
親世代」を想いやり、痛みを知
ることに特化して開発したのが
品「リヨウシューV錠」です。

だから効く①

6つの医薬品有効成分に

ズリホスト®で

筋肉や神経組織に必要

栄養を供給

①アルスマリン酸塩 ②バシリン酸カルシウム
③ピリドキシン塩酸塩 ④シアンコ

緩和

自律神経や末梢神経など

働きを助け痛みを緩和

促進

血液の循環を促し痛みを

軽減

①トコトコルコル酸エステルカ

補給

筋力や神経組織に必要

栄養を供給

①アルスマリン酸塩 ②バシリン酸カルシウム
③ピリドキシン塩酸塩 ④シアンコ

緩和

自律神経や末梢神経など

働きを助け痛みを緩和

促進

血液の循環を促し痛みを

軽減

①トコトコルコル酸エステルカ